

# 「話すこと [やり取り]」の指導における考えたことやその理由などを述べ合う活動（中学校）

## 1 単元名

ONE WORLD English Course3 Lesson7 「Debating Doggy Bags」

## 2 内容のまとめ

中学校第3学年 「話すこと [やり取り]」ウ

## 3 単元の目標

相手の意見を聞いて自分の意見を深めたり、自分の意見を伝えたりするために、ディベートにおいて、既習の言語材料を活用して、相手の意見を聞いて要点を捉えたり、自分の考えを整理し、意見を述べたり、反論したりすることができる。

## 4 単元の評価規準「話すこと [やり取り]」

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>[知識] 賛成や反対の述べ方や意見を述べる際の表現を理解している。</p> <p>[技能] ディベートなどにおいて、賛成や反対の述べ方や意見を述べる際の表現の理解を基に、伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>相手の意見を聞いて自分の意見を深めたり、自分の意見を伝えたりするために、日常的または社会的な話題について、自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、質問したり、相手からの質問に答えたりしている。</p>	<p>相手の意見を聞いて自分の意見を深めたり、自分の意見を伝えたりするために、日常的または社会的な話題について、自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、質問したり、相手からの質問に答えようとしている。</p>

## 5 指導と評価の計画（10時間）

※網掛けは、評価したことを記録に残す場面

時数	ねらい (■)、主な言語活動等 (丸数字)	知	思	態	評価方法
1	<p>■単元の目標を理解し、学習活動の見通しをもつ。</p> <p>■ディベートのテーマを理解して、自分の立場を考える。</p> <p>①教科書本文を読んだり聞いたりしながら、ドギーバッグについての概要を理解する。</p> <p>②教科書の対話を参考にして、「中学生に携帯電話は必要だ」というテーマについて自分の考えをもち、賛成派と反対派に分かれる。</p>	○			
2	<p>■自分の考えを基に、立論スピーチを作成する。</p> <p>①教科書の賛成派の意見と反対派の意見を読み取り、賛成派と反対派が意見を述べる際の基本的な表現について理解する。</p> <p>②「中学生に携帯電話は必要だ」というテーマについて、個人で賛成派立論スピーチと反対派立論スピーチのどちらかを作成する。</p>	○	○		
3	<p>■グループで表現を工夫して、立論スピーチを作成する。</p> <p>①グループに分かれて、個人で作成した立論スピーチについて意見を述べ合い、よりよい立論スピーチを作成する。</p> <p>②自分のグループの立論スピーチに対して、相手側からの質問を予想し、その回答の準備をする。</p>		○	○	
4	<p>■教科書本文について、それぞれの立場に立って質疑応答する。</p> <p>①教科書の賛成派の意見に対して、反対の立場に立って質問を行ったり、賛成の立場に立って答えたりする。</p>		○		
5	<p>■教科書本文について、それぞれの立場に立って質疑応答する。</p> <p>①教科書の反対派の意見に対して、賛成の立場に立って質問を行ったり、反対の立場に立って答えたりする。</p>		○		
6	<p>■立論スピーチに対して、それぞれの立場で適切に質問したり回答したりする。</p> <p>①「中学生に携帯電話は必要だ」というテーマについて、反対派の立論スピーチを読み、グループごとに質問を考える。</p> <p>②実際に質疑応答を行い、それぞれのグループの質疑応答のよい点や改善点について意見を述べ合う。</p>		○	○	
7	<p>■相手の意見に反論し、自分の意見をまとめる。</p> <p>①教科書本文を読み取り、相手の意見に反論しながら自分の意見をまとめる際の基本的な表現について理解する。</p> <p>②教科書の本文を参考に、「中学生に携帯電話は必要だ」というテーマについて、賛成派と反対派のそれぞれのまとめのスピーチを作成する。</p>	○	○		
8	<p>■相手の意見に反論し、自分の意見をまとめる。</p> <p>①「中学生に携帯電話は必要だ」というテーマについて、賛成派と反対派それぞれのまとめのスピーチを行い、スピーチのよい点や改善点について意見を述べ合う。</p>		○	○	
9	<p>■賛成や反対の意見の述べ方や意見を述べる際の表現を理解する。</p> <p>■自分の意見を述べるために、話し手の意見を聞いて、要点を捉える。</p> <p>①単元テストに取り組む。</p>	○	○	○	内容分析
10	<p>■相互に質疑応答する場面で、適切に質問したり回答したりすることができる。</p> <p>①「中学生は部活に入るべきだ」というテーマでグループごとにディベートを行う。</p>	○	○	○	行動観察 内容分析

### 【POINT】

教科書を参考にし、教科書とは異なるテーマで、実際に立論スピーチを作成したり、ディベートを行ったりします。パフォーマンステストへの見通しを明確にすることが大切です。



### 【POINT】

ペアやグループで、相互評価を行います。適切な質疑応答にするために必要な4つの条件を、繰り返し指導することが大切です。

条件1：適切な内容  
条件2：適切な表現  
条件3：適切な質問  
条件4：適切な応答



※実際の指導と評価に当たっては、他の領域（「話すこと [発表]」など）の評価規準を設定し、「指導と評価の計画」を立てることが考えられます。

「話すこと [やり取り]」の指導における考えたことやその理由などを述べ合う活動（中学校）

6 評価例

「話すこと [やり取り]」（知識・技能）（思考・判断・表現）

<p><b>評価場面</b></p>	<p>パフォーマンステスト 活動内容：グループごとにディベートを行い、自分とは違う立場の立論スピーチに対して、それぞれの立場で適切に質問したり回答したりする。</p>																		
<p><b>評価方法</b></p>	<p>やり取り内容の分析</p>																		
<p><b>課題</b></p>	<p>「中学生は部活に入るべきだ」というテーマでグループごとに4人ずつディベートを行います。司会はA・L・Tが担当します。ディベートは、以下の手順で行います。 ①あらかじめ用意した、賛成派の2人の立論スピーチをそれぞれ発表する。 ②賛成派の2人の立論スピーチに対して、反対派の2人が質問し、3分間質疑応答を続ける。 ③あらかじめ用意した、反対派の2人の立論スピーチをそれぞれ発表する。 ④反対派の2人の立論スピーチに対して、賛成派の2人が質問し、3分間質疑応答を続ける。</p>																		
<p><b>採点の基準</b></p>	<p>「思考・判断・表現」について、単元を通して指導したことを踏まえた以下の4つの条件を全て満たしていれば「a」としている。ただし、条件3と4については、いずれかを満たしていればよい。 条件1：適切な内容（論点が合っているか） 条件2：適切な表現（既習事項を活用しているか） 条件3：適切な質問（相手のスピーチを引用したり、相手の考えを求めたり、話題を深めたりしているか） 条件4：適切な応答（自分の考えを理由とともに述べているか、メリットを明確にしているか）</p> <table border="1" data-bbox="328 913 1452 1196"> <thead> <tr> <th></th> <th>知識・技能</th> <th>思考・判断・表現</th> <th>主体的に学習に取り組む態度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a</td> <td>誤りのない正しい英文で話すことができる。</td> <td>4つの条件を全て満たしてやり取りしている。</td> <td>4つの条件を全て満たしてやり取りしようとしている。</td> </tr> <tr> <td>b</td> <td>誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。</td> <td>4つの条件のいずれかがやや適切ではないが、やり取りしている。</td> <td>4つの条件のいずれかがやや適切ではないが、やり取りしようとしている。</td> </tr> <tr> <td>c</td> <td>「b」を満たしていない。</td> <td>「b」を満たしていない。</td> <td>「b」を満たしていない。</td> </tr> </tbody> </table>				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	a	誤りのない正しい英文で話すことができる。	4つの条件を全て満たしてやり取りしている。	4つの条件を全て満たしてやり取りしようとしている。	b	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。	4つの条件のいずれかがやや適切ではないが、やり取りしている。	4つの条件のいずれかがやや適切ではないが、やり取りしようとしている。	c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度																
a	誤りのない正しい英文で話すことができる。	4つの条件を全て満たしてやり取りしている。	4つの条件を全て満たしてやり取りしようとしている。																
b	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。	4つの条件のいずれかがやや適切ではないが、やり取りしている。	4つの条件のいずれかがやや適切ではないが、やり取りしようとしている。																
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。																
<p><b>生徒のやり取り例</b></p>	<p>【賛成派A・Bのスピーチに対し反対派C・Dが質問】 C：I think those can be done at an event. What do you think about it? [条件3○] A：If you join club activities, you will have the chance to make a lot of friends. [条件4○] B：Difficult to make other junior high school friends. [条件4△] C：I think so, but I think you can also do it with SNS. B：SNS is dangerous. C：I think so. Thank you. D：Communication with friends may be in trouble. [条件3×] B：Why trouble? D：For example, little fight. B：You should be careful. [条件4○]</p>	<p>【反対派C・Dのスピーチに対し賛成派A・Bが質問】 B：If you don't want to get injury, you should join the culture club. For example, brass band, shodo, and art. What do you think? [条件3○] D：I see, but ... You are right. [条件4×] A：I think that studying is as important as club activities. What do you think? [条件3○] C：I think so, but club activities cost a lot of money, so we don't have to join club activities. [条件4○] D：Club activity is important, but my future is more important than club activities. [条件4△]  ※条件1と条件2については、全員○</p>																	
<p><b>評価例</b></p>	<p>生徒A <b>〔知・技〕</b>・・・a 正しい英文で話すことができている。 <b>〔思・判・表〕</b>・・・a 4つの条件を満たしてやり取りしている。</p> <p>生徒B <b>〔知・技〕</b>・・・b 誤りが一部あるが、話すことができている。 <b>〔思・判・表〕</b>・・・a 4つの条件を満たしてやり取りしている。</p>	<p>生徒C <b>〔知・技〕</b>・・・a 正しい英文で話すことができている。 <b>〔思・判・表〕</b>・・・a 4つの条件を満たしてやり取りしている。</p> <p>生徒D <b>〔知・技〕</b>・・・b 誤りが一部あるが、話すことができている。 <b>〔思・判・表〕</b>・・・c 〔条件3〕と〔条件4〕を満たしていない。</p>																	